ベストライフ

介護職員初任者研修
カリキュラム

1．職務の理解（6 時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①多様なサービスの理解	3	《講義内容》 ・　介護職が働くサービス現場にどのようなものがあるか、介護保険サービス（居宅・施設）とそれ以外（障害者（児）サービス等）について理解する。
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	《講義内容》 ・　多様な居宅、施設サービス現場における、それぞれの仕事内容を理解する。講師による講義のほか、様々な働く現場について視聴覚教材を活用して理解を深める。 ・　ケアプランからサービス提供にいたるまでの一連の流れ、チームアプローチ、他職種との連携、地域社会資源との連携等、介護サービスの提供についてイメージを持たせ、以降の研修に積極的に取り組めるようにする。 《見学》 介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）である『ベストライフ江田』を見学し、介護職の具体的イメージを持って各科目の学習に取り組めるようにする。
合計	6	

2. 介護における尊厳の保持・自立支援（9 時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①人権と尊厳を支える介護	4	《講義内容》 ・　尊厳の保持について理解し、説明できるようにする。 ・　ノーマライゼーション、自立支援について理解し、説明できるようにする。 ・　サービス利用者の尊厳について、法律に規定されている事柄を知る。 ・　虐待の定義、身体拘束禁止の意味を学ぶ
②自立に向けた介護	5	《講義内容》 ・　QOLについて理解し、説明できるようにする。 ・　ノーマライゼーションについて理解し、説明できるようにする。 ・　自立支援とはどのようなことか　介護者として自立支援の対応をどのように行えばよいかを学ぶ。 《演習内容》 グループワーク等により講義で学んだ内容を鑑み、事例をあげて検討をしてもらう。
合計	9	

3. 介護の基本（6 時間）

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護職の役割、専門性と 他職種のとの連携	2	《講義内容》 ・ サービスごとの特性を学ぶ。 ・ 介護の目指す基本的なポイントおよび介護の専門性について理解し、説明できるようにする。 ・ 家族による介護と専門職による介護の違いについて学ぶ。 ・ 介護の専門性について学ぶ。 ・ 介護職として共通の基本的な役割について学ぶ。 ・ 医療・看護との連携の必要性について学ぶ。 《演習内容》 事例をあげ、グループワーク等により講義で学んだ内容を鑑み、医療職等の連携、また、ご家族、介護支援専門員への報告、事業所との連携の仕方について検討をしてもらう。
②介護職の職業倫理	1	《講義内容》 ・ 介護職の職業倫理の重要性について理解する。 ・ 介護職が利用者や家族等と関わる際の留意点についてポイントを学ぶ。
③介護における安全の確保と リスクマネジメント	2	《講義内容》 ・ 生活支援の場で出会う典型的な「事故」について学ぶ。 ・ 介護における主要なリスクについて学ぶ。 ・ 生活支援の場で出会う典型的な「感染」について学ぶ。 ・ 介護職の健康管理のあり方、留意点等を学ぶ。
④介護職の安全	1	《講義内容》 ・ 介護職におこりやすい健康障害について学ぶ。 ・ 介護職が受けやすいストレスについて学ぶ。 ・ 介護職に対する健康管理のあり方留意点等を学ぶ。 ・ 介護職に対するストレスマネジメントのあり方、留意点等を学ぶ。
合計	6	

4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9 時間）

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護保険制度	3	《講義内容》 ・ 生活全体の支援の中で介護保険制度の位置づけを理解する。 ・ 介護保険制度の理念について学ぶ。 ・ 生活全体の支援の中で、介護保険制度における地域支援の役割について学ぶ。 ・ 介護保険制度の財源構成について学ぶ。 ・ 介護保険制度の保険料負担について学ぶ。
②医療との連携とリハビリテーション	3	《講義内容》 ・ 医療行為の考え方について学ぶ。 ・ 一定の要件のもとに介護福祉士等が行う医療行為などについて学ぶ。 ・ 医療・看護と介護の連携の重要性について学ぶ。 ・ リハビリテーションの理念と目的について学ぶ。 ・ リハビリテーション職種との連携について学ぶ。 《演習内容》 ・ グループワーク等により、介護職の出来る範囲での医療行為にならないとされている、バイタルチェックの仕方を学ぶ。
③障害福祉制度 およびその他制度	3	《講義内容》 ・ 障害者総合支援制度の理念について学ぶ。 ・ 高齢障害者の生活を支えるための基本的な考え方を理解する。 ・ 代表的な障害者福祉サービスの目的、内容について学ぶ。 ・ 代表的な権利擁護制度、個人の権利を守る制度[成年後見制度、日常生活支援事業、個人情報保護法]の目的、内容について学ぶ。
合計	9	

5. 介護におけるコミュニケーション技術(6 時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護におけるコミュニケーション	3	《講義内容》 ・ 共感のポイントについて学ぶ。 ・ 受容のポイントについて学ぶ。 ・ 傾聴的態度のポイントについて学ぶ。 ・ 気づきのポイントについて学ぶ。 ・ 基本的なコミュニケーションのポイントについて学ぶ。 ・ 介護における相談援助技術の重要性について学ぶ。
②介護における チームのコミュニケーション	3	《講義内容》 ・ 介護における記録の目的・意義について学ぶ。 ・ 介護における記録の重要性について学ぶ。 《演習内容》 講義の内容を鑑み、グループワーク等により記録のポイント等を確認します。
合計	6	

6. 老化の理解(6 時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①老化に伴うこころと からだの変化と日常	3	《講義内容》 ・ 加齢・老化に伴う心身の変化、特徴について学ぶ。 ・ 加齢・老化に伴う社会面の変化に注目した心理的特長について学ぶ。 ・ 加齢・老化に伴う精神面の変化に着目した心理的特長について学ぶ。 ・ 加齢・老化に伴う知的能力面の変化に着目した心理的特長について学ぶ。 ・ 加齢・老化に伴う生理的な変化について学ぶ。
②高齢者と健康	3	《講義内容》 ・ 加齢・老化に伴う心身の変化の特徴について学ぶ。 ・ 高齢者に多い疾病の症状や訴え、特徴について学ぶ。 ・ 高齢者に多い疾病の種類について学ぶ。 ・ 高齢者に多い疾病の治療について学ぶ。 ・ 高齢者に多い疾病の生活上の留意点について学ぶ 《演習内容》 講義の内容を鑑み、グループワーク等により高齢者への対応の仕方を検討します。
合計	6	

7. 認知症の理解(7 時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①認知症を取りまく状況	1.5	《講義内容》 ・ 認知症ケアの理念について理解し、説明できるようにする。 ・ 認知症ケアの「利用者中心」という考え方について理解し、説明できるようにする。 ・ 認知症の介護の原則について学ぶ。 ・ 廃用症候群予防について理解し、説明できる。

②医学的側面から見た 認知症の基礎と健康管理	2	《講義内容》 ・ 健康な高齢者の「物忘れ」と、認知症による「記憶障害」の違いについて学ぶ。 ・ 若年性認知症の特徴について学ぶ。 ・ 認知症の中核症状について学ぶ。 ・ 認知症の行動・心理的症状等の基本的特性について学ぶ。 ・ 認知症の行動・心理症状等に影響する要因について学ぶ。 ・ 認知症の利用者の健康管理の重要性について理解し、説明できるようにする。 ・ 認知症の利用者の健康管理の留意点について理解し、説明できるようにする。
③認知症に伴う こころとからだの変化と日常生活	1.5	《講義内容》 ・ 認知症の利用者の心理のポイントについて学ぶ。 ・ 認知症の利用者の行動のポイントについて学ぶ。 ・ 認知症の利用者への対応について学ぶ。 ・ 認知症の利用者とのコミュニケーションのとり方について学ぶ。 ・ 認知症の利用者とのコミュニケーションの原則について理解する。 ・ 認知症の利用者とのコミュニケーションのポイントについて理解する。 ・ 認知症の利用者との具体的な関わり方について理解し、説明できるようにする。 ・ 認知症の行動・心理的症状等の基本的特性について学ぶ。 ・ 認知症の行動・心理症状等に影響する要因について学ぶ。 ・ 認知症の利用者への対応について学ぶ。 ・ 廃用症候群予防について理解し、説明できるようにする。 ・ 認知症の利用者の生活環境の意義とあり方についてポイントを学ぶ。 《演習内容》 講義内容を鑑み、グループワーク等により認知症の利用者への対応について検討します。
④家族への支援	1	《講義内容》 ・ 認知症ケアの理念について理解し、説明できるようにする。 ・ 家族の気持ちについて学ぶ。 ・ 家族が受けやすいストレスについて学ぶ。 ・ 認知症の利用者の心理のポイントについて学ぶ。
合計	6	

8. 障害の理解(3 時間)

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①障害の基礎的理解	1	《講義内容》 ・ 障害の概念について理解し、説明できるようにする。 ・ ICFについて理解し、説明できるようにする。 ・ 障害者の受容プロセスについて学ぶ。
②障害の医学的側面、生活障害、 心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識	1	《講義内容》 ・ 各障害の内容、特徴および障害に応じた社会支援の考え方について学ぶ。 ・ 基本的な介護の考え方について学ぶ。 《演習内容》 講義の内容を鑑み、グループワーク等により障害の受容について検討します。
③家族の心理、 かかわり支援の理解	1	《講義内容》 ・ 障害の受容のプロセスについて学ぶ。
合計	3	

9.　こころとからだのしくみと生活支援技術（75 時間）			
	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
基本知識の学習	①介護の基本的な考え方	3	《講義内容》 ・　主だった状態の高齢者の様子をイメージすることができ、要介護等に応じた住宅・施設等における高齢者の生活について理解し、説明できるようになる。 ・　利用者の身体の状況に合わせた介護のポイントについて理解し、説明できるようになる。 ・　生活の中の介護予防の考え方や方法について理解し、説明できるようになる。 ・　介護予防プログラムによる機能低下の予防の考え方、方法について理解し、説明できるようになる
	②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3	《講義内容》 ・　人の記憶の構造について支援に結びつけて理解し、説明できるようになる。 ・　人の意欲等について支援と結びつけて理解し、説明できるようになる。 《演習内容》 講義の内容を鑑み、グループワーク等により、高齢者の喪失体験、生きがいについて検討します。
	③介護の関するからだのしくみの基礎的理解	4	《講義内容》 ・　人体の構造・機能を学ぶ。 ・　何故行動が起こるのか理解し、説明できるようにする。
生活支援技術の講義・演習	④生活と家事	7	《講義内容》 ・　家事援助の機能・基本原則について学ぶ。
	⑤快適な住環境整備と介護	5	《講義内容》 ・　利用者の身体状況に合わせた環境整備のポイントを理解し、説明できるようにする。
	⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	《講義内容》 ・　装うことの意義について具体的に説明できるようになる。 ・　整容の意義について具体的に説明できるようになる。 ・　指示や根拠に基づいて部分的な介護を出来るようになる。 《演習内容》 ・　起居動作・衣類の着脱（寝たきりの場合、体力のない人の場合等）
	⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	《講義内容》 ・　体位変換の意味、移動・移乗の意味について理解し、説明できるようにする。 ・　体位変換、移動・移乗に関するからだのしくみについて理解する。 ・　体位変換、移動・移乗に関して指示に基づいた介助ができるようにする。 ・　体位変換に関連する用具や機器の基本的使用方法について理解し、説明できるようになる。 ・　車いす等の操作方法を理解する。 《演習内容》 ・　一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができるようにする。 ・　杖歩行の介助ができるようにする。 ・　体位変換ができるようにする。
	⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	《講義内容》 ・　食事の意味を学ぶ。 ・　食事に関するからだのしくみについて理解する。 ・　食事を取りまく環境整備の方法について学ぶ。 ・　食事に関して指示に基づいた介助ができるようにする。 《演習内容》 ・　食事前の準備を行うことができるようにする。 ・　食事介助ができるようにする。 ・　口腔ケアができるようにする。

	⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	《講義内容》 ・ 入浴の意味を学ぶ。 ・ 清潔の意味を学ぶ。 ・ 入浴に関するからだのしくみについて理解する。 ・ 入浴を取りまく環境整備について学ぶ。 ・ 入浴に関連した用具について学ぶ。 ・ 入浴に関して指示に基づいた介助ができるようにする。 《演習内容》 ・ 入浴前の確認ができるようにする。 ・ 洗体ができるようにする。 ・ 清拭ができるようにする。
	⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	《講義内容》 ・ 排泄の意味を学ぶ。 ・ 排泄に関するからだのしくみについて理解する。 ・ 排泄を取りまく環境整備の方法について学ぶ。 ・ 排泄に関して指示に基づいた介助ができるようにする。 ・ 排泄に関連した用具について学ぶ。 《演習内容》 ・ 排泄の準備を行うことができるようにする。 ・ トイレ（ポータブルトイレ）での排泄介助ができるようにする。 ・ オムツ交換を行うことができるようにする。
	⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	《講義内容》 ・ 睡眠の意味を学ぶ。 ・ 睡眠に関するからだのしくみについて理解する。 ・ 睡眠を取りまく環境整備の方法について学ぶ。 ・ 睡眠に関連した用具について学ぶ。 ・ 睡眠に関して指示に基づいた介助ができるようにする。 《演習内容》 ・ ベッドメイキングを行うことができるようにする。
	⑫死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介	5	《講義内容》 ・ ターミナルケアの考え方について学ぶ。 ・ ターミナルケアの対応の仕方について学ぶ。 ・ ターミナルケアの留意点について学ぶ。 ・ ターミナルケアの本人・家族への説明と了解について学ぶ。 ・ ターミナルケアの介護職の役割について学ぶ。 ・ ターミナルケアの他の職種との連携について学ぶ。
生活支援技術演習	⑬介護過程の基礎的理解	3	《講義内容》 ・ 自立した生活を実現する為の介護過程について学ぶ。
	⑭総合生活支援技術演習	7	《演習内容》事例 2 件 ・ その場に応じた適切な声がけ、安全の確認、自立支援を意識した介助を行うことができるようになる。 起居の動作、衣服の着脱、車いすへの移乗、車いすでの移動、杖歩行の介助、体位変換、食事介助、口腔ケア、入浴介助、清拭、排泄介助、ベッドメイキング等
合計		75	

10. 振り返り（4 時間）

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①振り返り	2	・ 研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行う。
②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2	・ 就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。 ・ 専門職としての心得を確認。
合計	4	
全カリキュラム合計時間	130 時間	